

平成26年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年 2 月13日

上 場 会 社 名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東
 コー ド 番 号 7851 URL <http://www.kc-s.co.jp>
 代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 川瀬 康平
 問合せ先責任者 （役職名） 最高財務責任者 （氏名） 梶山 伸夫 （TEL）06-6222-7474
 四半期報告書提出予定日 平成26年 2 月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年 3 月期第 3 四半期の業績（平成25年 4 月 1 日～平成25年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
26年 3 月期第 3 四半期	2,224	△9.3	△65	—	△45	—	△68	—
25年 3 月期第 3 四半期	2,452	△6.3	△14	—	6	△86.8	△1	—
	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年 3 月期第 3 四半期	△14.23		—					
25年 3 月期第 3 四半期	△0.37		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
26年 3 月期第 3 四半期	4,299	3,435	79.9
25年 3 月期	4,555	3,537	77.7

（参考）自己資本 26年 3 月期第 3 四半期 3,435百万円 25年 3 月期 3,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 3 月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年 3 月期	—	0.00	—		
26年 3 月期(予想)				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3 月期の業績予想（平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,030	△5.6	△50	—	△37	—	△62	—	△12.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	5,160,000株	25年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	347,706株	25年3月期	346,760株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	4,812,520株	25年3月期3Q	4,838,240株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済の環境は、政府の経済政策等により、円高の是正・株価の上昇で景況感の改善が見られ、緩やかに回復しているものと思われます。

ビジネスフォーム業界におきましては、需要の回復がある一方で帳票の電子化、簡略化、廃止などの流れも依然として潜在し、業界を取り巻く環境は不透明なものであります。このような状況下、営業部門におきましては、BP0ビジネスの取り込みに重点を置いた既存取引先への深耕活動や新規取引先の開拓活動を中心に、中央官庁をはじめ市町村、外郭団体との取引拡大及び採算の悪い案件の価格改善を中心に活動を展開いたしました。

生産部門におきましては、設備の導入による生産性の向上や物流の見直し、資材の購入先や購入方法の見直しによるコスト低減を中心に活動をいたしました。

しかしながら、生産部門の原価率の改善は一定の効果がありましたが、営業面における厳しい状況が影響し、売上の低下を原価率の改善が吸収することができませんでした。

その結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が2,224百万円（前年同期は2,452百万円）、経常損失は45百万円（前年同期は6百万円の経常利益）、四半期純損失は68百万円（前年同期は1百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

企業の販売促進費の抑制による需要の減少及び価格競争激化の影響が大きく、既存取引先へより一層の深耕活動等を行いました。売上高は前年同期と比べ201百万円減少の1,479百万円（前年同期は1,681百万円）、セグメント利益は150百万円の利益（前年同期は189百万円）となりました。

② 情報処理事業

新規案件獲得に幅広く活動しましたが、金融関連の総需要量の減少並びに電子化の進行の影響は大きく、売上高は前年同期と比べ26百万円減少の744百万円（前年同期は770百万円）、セグメント利益は42百万円の利益（前年同期は48百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末と比べ202百万円減少し、2,355百万円となりました。これは主に「現金及び預金」が171百万円、「受取手形及び売掛金」が50百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ52百万円減少し、1,944百万円となりました。これは「有形固定資産」及び「無形固定資産」の取得により39百万円、「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が20百万円、「保険積立金」が17百万円増加があったものの、「減価償却」により「有形固定資産」が105百万円、「無形固定資産」が23百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ139百万円減少し、649百万円となりました。これは主に「買掛金」が29百万円、「短期借入金」が64百万円、「賞与引当金」が21百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ14百万円減少し、214百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「繰延税金負債」が8百万円増加し、「リース債務」が30百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ101百万円減少し、3,435百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が116百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月13日に開示した業績予想につきまして現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,951,690	1,780,376
受取手形及び売掛金	508,258	457,731
商品及び製品	26,689	37,604
仕掛品	8,770	8,483
原材料及び貯蔵品	20,450	28,943
その他	42,788	42,800
貸倒引当金	△84	△122
流動資産合計	2,558,564	2,355,817
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	413,093	387,464
土地	523,057	523,057
その他（純額）	424,601	376,363
有形固定資産合計	1,360,752	1,286,885
無形固定資産	86,435	71,898
投資その他の資産	549,391	585,328
固定資産合計	1,996,578	1,944,112
資産合計	4,555,142	4,299,929
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,865	126,640
短期借入金	416,720	351,740
未払法人税等	15,890	2,084
賞与引当金	43,816	22,789
その他	156,639	146,553
流動負債合計	788,931	649,808
固定負債		
退職給付引当金	41,165	42,733
役員退職慰労引当金	25,841	31,907
その他	161,828	139,823
固定負債合計	228,835	214,463
負債合計	1,017,766	864,271

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,213,703	1,097,066
自己株式	△85,961	△86,171
株主資本合計	3,527,047	3,410,200
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,328	25,457
評価・換算差額等合計	10,328	25,457
純資産合計	3,537,376	3,435,658
負債純資産合計	4,555,142	4,299,929

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,452,058	2,224,086
売上原価	1,816,280	1,611,022
売上総利益	635,778	613,064
販売費及び一般管理費	650,273	678,355
営業損失(△)	△14,495	△65,290
営業外収益		
受取利息	182	186
受取配当金	4,913	1,972
助成金収入	13,821	12,432
その他	12,723	14,193
営業外収益合計	31,641	28,785
営業外費用		
支払利息	10,178	8,405
その他	344	362
営業外費用合計	10,522	8,767
経常利益又は経常損失(△)	6,623	△45,273
特別利益		
固定資産売却益	8,119	—
特別利益合計	8,119	—
特別損失		
固定資産除却損	177	20
投資有価証券評価損	9,534	3,946
社葬費用	—	11,277
その他	—	1,277
特別損失合計	9,712	16,521
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	5,031	△61,794
法人税、住民税及び事業税	6,806	6,709
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	6,806	6,709
四半期純損失(△)	△1,775	△68,503

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,681,393	770,665	2,452,058	—	2,452,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,681,393	770,665	2,452,058	—	2,452,058
セグメント利益又は損失〈△〉	189,524	48,626	238,148	△252,643	△14,495

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,479,732	744,354	2,224,086	—	2,224,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,479,732	744,354	2,224,086	—	2,224,086
セグメント利益又は損失〈△〉	150,466	42,895	193,361	△258,652	△65,290

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。